

広報誌

しん

りよく

新泉録

書・松本漢仙



JA につたみどり

2026. 10 No.94



第62回桐生市ぶどう展示会
(関連記事は2ページ)

第18回関東生乳品質改善共励会

石原牧場が最優秀賞受賞

今年で18回目となる関東生乳品質改善共励会で、石原牧場の石原玄明さん（みどり市大間々町）が見事、2位に輝き、最優秀賞を受賞されました。

この共励会は関東生乳販売主催により毎年開催され、生乳品質の年間成績優秀者を表彰するもので、石原さんの日々の努力が実を結んだ大変名誉な受賞となりました。石原さんは「飼料価格の高騰や資材の高騰などで、畜産業界は厳しい状況にあるが、これからも消費者においしい牛乳を届けられるように努力していきたい」と話してくれました。

出品は関東圏内の生乳生産者1405名を対象に厳正に審査され、最優秀賞10点、優秀賞10点、優良賞80点、長期連続賞2点、連続賞4点が選ばれました。

当JAからのその他の入賞者は次の通りです。

（上位100位以内）

17位 三輪 圭 吾（笠懸町）

44位 小林 利 信（大間々町）



最優秀賞と長期連続賞受賞：石原牧場の石原玄明さん

副賞名	受賞者	品 種 名
桐生市長賞	津久井ぶどう園	シャインマスカット
桐生市議会議長賞	津久井ぶどう園	藤稔
桐生市農業委員会賞	石原ぶどう園	シャインマスカット
新田みどり農協組合長賞	今忠ぶどう園	藤稔
県東部農業事務所賞	津久井ぶどう園	ミックス
県農協中央会長賞	ガーデンタナカヤ	クイーンセブン
JA全農県本部運営委員会賞	ぶどう園なかざと	ミックス
県園芸協会賞	石原ぶどう園	ゴールドフィンガー
津久井竹太郎賞	ぶどう園なかざと	富士の輝

第62回

桐生市ぶどう展示会

最高賞に津久井ぶどう園



試食を楽しむ来場者ら

第62回桐生市ぶどう

展示会（桐生市・JA につたみどり主催）が8月26日、同市の美喜仁桐生文化会館で開催されました。

この展示会は、桐生地域で生産されたブドウを広く市民に紹介すると共に、生産農家の技術改良を図り、農業所得の増大を期すること

とを目的としています。

桐生市内並びに桐生ぶどう組合員が育てた86点が出品され、最高賞の桐生市長賞には、津久井ぶどう園の「シャインマスカット」が選ばれました。審査会は、県東部農業事務所の技師らが展示会審査基準に従い、糖度や房の形状などを審査しました。会場では試食コーナーや、ブドウの販売も行われました。



展示品を見て回る来場者ら

群馬県桐生行政県税事務所 群馬県自動車税事務所より

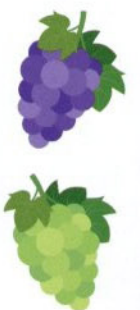
感謝状



桐生行政県税事務所太刀川課長◎と新井組合長

JAにつたみどりでは、県税（自動車税）の納期内納付を広報誌等を通じて呼び掛けてきましたが、7月28日、群馬県桐生行政県税事務所県税課長と群馬県自動車税事務所所長の連名で、その広報活動に対し感謝状をいただきました。

JAの新井組合長は、これからも県より依頼を受けたものに対しては、広報誌や事業所の窓口などでお知らせ活動を継続していくことを伝えました。



につた地域肉牛肥育部会

夏期肉牛枝肉共進会

最優秀賞

(株)加藤牧場
(株)加藤ファーム

新田みどり農協につた地域肉牛肥育部会は7月31日、県食肉卸売市場で、夏期肉牛枝肉共進会を開きました。最優秀賞に、黒毛和種の部で(株)加藤牧場、交雑種の部で(株)加藤ファームの出品牛が選ばれました。審査後のセリでは、買参人から高い評価を得て落札されました。



審査後セリにかけられた枝肉

◇黒毛和種の部

▽優秀賞Ⅱ(有)和洋牧場、(株)加藤牧場

▽優等賞Ⅱ(有)飯島牧場、(株)加藤牧場

山川恭平



今回は部会員6人が参加し、黒毛和種21頭、交雑種24頭を出品。肉質、脂肪交雑、歩留まりなどを市場関係者が、日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格に基づき厳正に審査しました。その他の入賞は次の通りです。

◇交雑種の部

▽優秀賞Ⅱ(有)和洋牧場、(株)加藤ファーム

▽優等賞Ⅱ(株)加藤ファーム3点

▲(株)加藤牧場の加藤浩治さん



▲(株)加藤ファームの加藤克弥さん



ストップ! 不正軽油

群馬県では不正軽油の情報窓口として不正軽油110番を設けています。

不正軽油とは、軽油に灯油や重油を混ぜたり、灯油や重油をそのまま、又は混ぜたりして、軽油と称して販売・使用される燃料のことです。悪質な脱税行為であるだけでなく、製造や使用によって土壌や大気を汚染するなど重大な犯罪です。

- ダンプやトラックに灯油や重油を給油している人がいる。
- 安い燃料を買ったらエンジンの調子が悪くなった。
- 安い軽油の売り込みがあった。

など、不正軽油を製造・販売・使用していると思われる情報がありましたらお知らせください。

問い合わせ・連絡先

不正軽油110番/027-231-2801

前橋行政県税事務所 軽油引取税係

役員コンプライアンス 研修会開催

職場風土づくりに役員が率先

JAにつたみどりは7月29日、理事・監事全員を対象に役員コンプライアンス（法令遵守）研修会を開催しました。この研修会は毎年今の時期に行っているもので、総務担当の別井常務が講師となり、全国的に不祥事が発生している現状を知り、役員は経営者としての責任があることを知ってもらい、不祥事を起こさない・起こさないためにはどうすべきかを考えることを目的として、再確認しています。

別井常務は、不祥事未然防止対策の必要性を再認識して「我々役員が率先してコンプライアンスに取り組むことで不祥事のない職場風土をつくっていきましょう」と話しました。

JAは今後、臨時職員を含む全職員に対してもコンプライアンス研修会を開く予定です。



別井常務から説明を受ける役員

Compliance



ドローンによる農薬散布

空からカメムシ防除

JAにつたみどりは7月29日から31日にかけて、新田
市野井町の圃場で、ドローンによるカメムシ防除の農薬
散布を行いました。今年は約37.5ヘクタールの申込があり、
依頼面積は前年より増加しています。



新田市野井町の圃場で

今回のドローンの重さは約10kg、殺虫剤8リットルを積載し
2本のノズルで
およそ2mの高
さから散布し、
10ルートを数分でこ
なしました。
バッテリーを
搭載するドロー
ンは、天候や農
薬の重量にもよ
りますが、空中
時間は約20分程
です。

ドローンを稼
働するにあたり

て、国土交通省に申請することなどが決められており、
あらかじめタブレットに散布
地を登録し、それをもとに移
動します。

作業はパイロット
1人、誘導員2人、
薬品作り1人の4人
体制で行いました。



露地ナス現地研修会



営農部は7月27日、桐生市新里町の富田正次郎さんの圃場で第2回露地ナス現地研修会を開催し、生産者など15人が参加しました。県桐生地域農業課の田嶋技師が講師を務め、切り戻しせん定栽培方法や病害虫防除について学びました。



営農部は8月24日、桐生市新里町の富田正次郎さんの圃場で第3回露地ナス現地研修会を開催し、生産者など20人が参加しました。県桐生地域農業課の田嶋技師が講師を務め、後半の収穫に向けた栽培方法や病害虫防除について説明しました。



ちぢみホウレンソウ栽培講習会



営農部は7月27日、新田営農センターで「ちぢみホウレンソウ栽培講習会」を開催し、生産者16人が参加しました。県東部農業事務所担い手・園芸課の平田技師が、栽培のポイントや糖度を確保するための対策などを説明しました。



ホウレンソウ栽培講習会



営農部は7月31日、新田営農センターで「ホウレンソウ栽培講習会」を開催し、生産者14人が参加しました。県東部農業事務所担い手・園芸課の平田技師が、病害虫対策を説明し、営農部の八木係長は管内で栽培に適した品種などを説明しました。



准組合員からの意見・要望と当JAの対応



准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領に則り、准組合員の声を組織・事業運営に反映させることを目的として、当JAの事業・活動等に参加いただいている准組合員17名を選出し、令和8年8月に本年度1回目の総合モニターアンケートを実施いたしました。このアンケートにおいてさまざまなご意見ご要望をいただきました。当JAはこのことを受け下記のとおり対応いたします。

准組合員からの意見・要望

JAの対応

信用事業	以前のように招待旅行をお願いします。	▶ 今後、JA収支が厳しくなっていくことが予想されることから、招待旅行の復活は厳しいのが現状です。
	今後も得になる商品の提供をお願いします。	▶ 今後も更により良い金融サービスを提供して参ります。
	JAは農家と地域住民に密着しているので、他の金融機関より信頼感があり、身近で利用しやすい。	▶ 引き続き、信頼され身近に感じていただけるように心がけて参ります。
共済事業	災害があった時に職員から電話が欲しい。	▶ 災害時、個別に契約者様が被災されたか確認しておりませんが、ネットでWEBマイページ登録（メールアドレスでの登録）をしていただきますと、一定の災害時に通知を行う機能がありますので、是非とも登録をお願いします。契約内容の確認や一部の変更手続きができる機能もございます。
	職員が時々来てくれて色々な情報をもらえて助かるので今後も続けて欲しい。	▶ 保障内容の確認で訪問させていただいております。引き続き活動して参ります。
購買事業	SSのプリペイドカードに期限があるのにビックリしました。無期限で使用できれば助かる。	▶ 最終利用日より3年で有効期限となります。期間を空けずにご利用いただきますようお願いいたします。
	肥料・農薬の説明や使用方法などをもっと指導してもらえるとありがたい。	▶ 営農部門と連携して対応いたしますので、各購買店舗や営農センターにお問い合わせ下さい。
	コープで売っている「あっさり漬の素」と「なす漬の素」の大口をJAグリーンで扱って欲しい。	▶ なす漬の素の規格は現行ですが、あっさり漬の素は大口がありますので、JAグリーンに用意いたします。ご来店をお待ちしております。
全体	JAの役職員が努力していることが伝わりました。	▶ 今後も組合員や利用者の意見を参考にしながら経営に活かしていきたいと思います。
	JAが農家のサポートやサービスなど色々と取組んでいることを知りました。高齢化や過疎化が進んでいるので、今後も農家のために活動して欲しい。	▶ JAは総合事業として、金融・共済・農業・生活関連・葬祭等の事業を通じて組合員や利用者のために事業を行い、地域社会に貢献しています。今後も、地域の農業を守るべく活動して参ります。

※「准組合員からの意見・要望」は原文の趣旨を変えない範囲で変更している箇所があります。

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産する

10月16日は **国消国産** の日
こくしょうこくさん

JAグループ



AGRI MACHINE FAIR 2026

開催期間 **12/5(土)・12/6(日)**

開催場所: JA全農ぐんま総合センター内特設会場

アグリマシンフェア 2026

農業機械・農業関連メーカー

約40社が勢揃い!

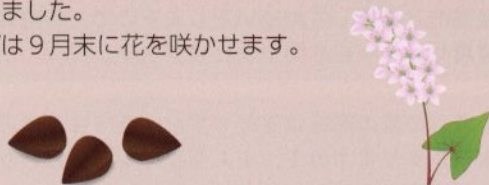
最新スマート農機 / スマート農業をご提案!



そばの種まき

新田の綿打地区で8月24日、そばの種まきが行われました。種まきは初霜日や晩霜の有無から逆算して、毎年8月20日から25日の間で行われます。種まき後に雨が降ると種が腐り、芽が出ないことから、天候に注意しながら作業を行いました。

そばは9月末に花を咲かせます。



廃資材・廃ポリ・廃ビニール回収

みどり地区



新田みどり園芸用廃プラスチック適正処理推進協議会は、新里営農センター敷地内で、8月7日に廃資材、20日に廃ポリ、21日に廃ビニールの回収を行いました。

廃資材は件数45件、処理重量約5 t、廃ポリは件数95件、処理重量約21 t、廃ビニールは件数59件、処理重量約16 t を県指定先の処理業者へ搬出しました。



廃資材回収作業



次々と搬入される廃ポリ



廃ビニール回収作業

新田女性の会 研修旅行

栃木・福島県での2日間を満喫

新田女性の会では、9月3日、4日の2日間「研修旅行」を行いました。行先は栃木県、福島県で会員33名が参加しました。



初日は、もみじ谷大吊橋を訪れ、ホテルエピナル那須で洋食ランチ。那須の自然と美味しい料理を堪能しました。その後、お買い物を楽しみ、創業60周年を迎えたスパリゾートハワイアンズに宿泊。夜は豪華な料理とカ



いわき震災伝承みらい館の前で記念撮影

ラオケで宴会も大盛り上がり。1日目の締めくくりには、リネシアンショーを観賞し、フラガールによるフラダンスやファイヤードダンスなどハワイの文化に触れることができました。

翌日は、いわき震災伝承みらい館を見学し、東日本大震災から15年経った今、震災の記憶と教訓を未来につなぐための研修を受けました。その後、塩屋埼灯台のたもとに立つ、美空ひばりの「みだれ髪」の歌碑を見学し、道の駅などで買い物を楽しみました。

今回は初めて参加された方も多く「とても楽しかった。次回もぜひ参加したい」との声も聞こえ、会員同士の交流が深まり笑顔がたくさんの2日間となりました。

女性の会では今後、会員の皆様に楽しんでいただける行事を計画しています。

笠懸ハウス婦人部 JAにっただみどり女性部

健康づくりハイキング

笠懸ハウス婦人部・JAにっただみどり女性部合同のハイキングが8月6日、部員20名が参加し開催されました。

2時間程バスに揺られ、目的地の「群馬県・丸沼高原」に着。ハイキングコースの散策を存分に楽しむことができました。



ハイキングに参加された部員の皆さん

ハイキングの後は「猿ヶ京温泉源泉の湯・千の谷」にて美味しい食事と入浴で日頃の疲れを癒し、部員同士の情報交換を通してより交流を深めることができました。

参加者の方も満足なご様子で、笑顔の絶えない一日になりました。



抑制キュウリ目ぞろえ会開催



園芸部では、野菜の品質・規格の再確認や意識の統一を図るため、野菜集出荷所などで目ぞろえ会を行い、生産者が情報を共有し、有利販売に努めています。当日は、JA全農ぐんま園芸販売課の担当職員や、市場関係者も参加し意見交換を行いました。



9/3 新里野菜集出荷所



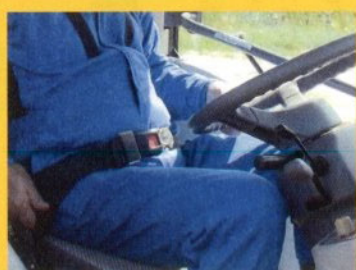
9/3 笠懸野菜集出荷所



9/10 新田野菜集配センター

発行／新田みどり農業協同組合
編集／総務部

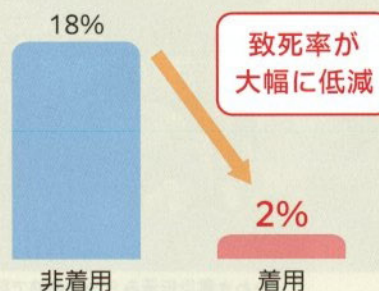
シートベルト着用義務化



道路運送車両の保安基準改正※により、乗用型トラクタで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されます。 ※令和7年6月17日公布



農耕作業用特殊車における事故時のシートベルト着用状況別致死率



(公財)交通事故総合分析センターのデータより農林水産省分析 (平成23年～令和2年、1当2当合計)

〒379-2313 群馬県みどり市笠懸町鹿235-2
TEL 0277-30-8511 FAX 0277-30-8611

【ホームページ】
<http://www.jagunma.net/nttamidori/>

義務化はいつから?

令和9年1月1日からです。

どのトラクタが対象?

令和9年1月1日以降に製造された座席を有するトラクタは、大型特殊自動車・小型特殊自動車に限らず対象車となります。

対象のトラクタには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー(※)が貼付されます。

(※)ステッカーのイメージ



座席ベルト着用義務車



違反した場合は?

シートベルトの着用義務違反として、点数1点が付されます。

農林水産省



理事会だより

8月の定例理事会

令和8年8月31日開催

◎協議事項

- (1) 規程類の制定・変更について
- ① タブレット端末等による投資信託取引規程の制定について
- ② 共済規程の一部変更について
- (2) 第3四半期剰余金運用方針・計画について
- (3) 令和9年度役員改選について

9月の定例理事会

令和8年9月28日開催

◎協議事項

- (1) 第2四半期決算について
- (2) 月次事業実績報告及び今後の対策について
- (3) 規程類の制定・変更について
- ① 役員選任規程細則の変更について
- ② 同一労働同一賃金ガイドライン改正に伴う規程変更について
- 臨時雇用者就業規則の変更について
- 給与規程の変更について
- ③ リスク評価書の変更について
- (4) 年末賞与の支給について